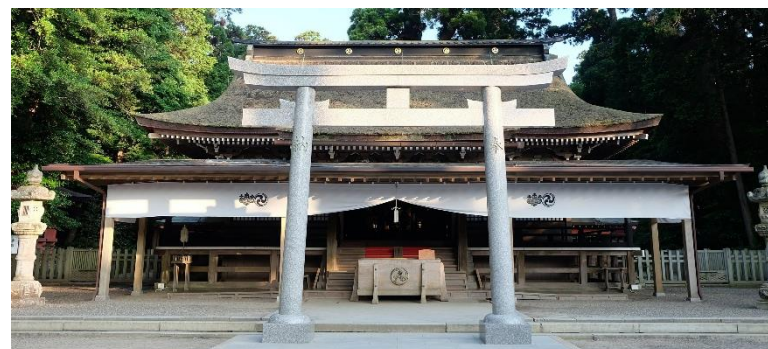


鹿島神宮

全国に600社ある鹿島神社の総本社。
日本神話最強の武神、武甕槌(タケミカヅチ)大神を祀り、人生の転換期に訪れると絶大なご利益を授かれる。



御利益

勝運、事始め、心願成就、縁結、武芸上達、交通安全、災難除け、家内安全など



鎮座地：鹿嶋市宮中2036番地1
電話：0299-82-1209
時間：自由
授与所 8：30～16:30



みどころ

本殿（重要文化財）
本殿・石の間・幣殿・拝殿の4棟からなる社殿は元和5年（1619年）に徳川幕府の手によって造営され、本殿には御祭神の武甕槌大神が祀られている。

楼門（重要文化財）
日本三大楼門の一つに数えられる。寛永11年（1634年）水戸徳川初代藩主により奉納された。

要石
地震を起こすナマズの頭を押さえていると古くから伝えられている。

息栖神社

国譲りの際に経津主、武甕槌らを道案内した、久那戸（クナド）神を主神とし、相殿に天乃鳥舟（アメノトリフネ）神・住吉三神を祀っている。



御利益

縁結、交通安全、招福開運、災難除け、家内安全、海上守護 など

鎮座地：神栖市息栖2882番地
電話：0299-92-2300
時間：自由
社務所 8：30～16:00



みどころ

忍潮井（オシオイ）
大鳥居の両脇に設けられた2つの井戸、縁結びの御利益があるとされ、日本三霊泉の1つに数えられている。

作成：香取市商工観光課

マイクロリズム 香取の魅力再発見【東国三社参り】

東国三社参りは江戸時代、「お伊勢参りの禊の三社参り」と呼ばれるほど篤い信仰を集めた旅でした。
多くの先人達が、三社の御利益を授かろうと何日もかけ大変な旅の末、各地を訪れたはずです。
“いつかは行きたい” と思いながら、願い叶わなかった人も大勢いたでしょう。それから300年が過ぎた今、私たちは一日でこの三社を参拝することができます。
時を超え、先人たちが見た景色や願いに思いをはせながらこの三社を巡ってみてはいかがでしょうか



香取神宮

全国に400社ある香取神社の総本社。
武甕槌(タケミカヅチ)大神とともに日本の国を平定した武神・経津主(フツヌシ)大神を祀り、今も鹿島神宮と対となって関東の東を守護している。

鎮座地：香取市香取1697番地1
電話：0478-57-3211
時間：自由
授与所 8：30～17：00
宝物館 ～16：00



御利益

心願成就、縁結、勝運、安産、交通安全、災難除け、家内安全 など



みどころ

本殿（重要文化財）
現在の本殿は元禄13年（1700年）に徳川幕府の手によって造営された。
楼門（重要文化財）
本殿同様、元禄13年造営。楼上の額は「東郷平八郎」の筆。
奥宮
経津主大神の荒魂が祀られている。社殿は昭和48年の伊勢神宮御遷宮の折の古材によるもの。
要石
地震を起こす地中に住む大ナマズを抑えるため、地中深くまで差し込んだとされる霊石。



東国三社参り記事
鹿嶋市地域おこし協力隊作成